

「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係る

アンケート調査(市民用)

集 計 結 果

■ 調査目的

新しい「(仮称)地域福祉計画」の策定に当たって、市民や各団体の考え・意識などの現状と課題を把握し、地域福祉計画の基礎資料とするため。

■ 調査対象者数

18歳以上の市民700人（住民基本台帳から無作為抽出）

■ 調査期間

30日間（令和5年12月21日～令和6年1月19日）

■ 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した調査対象者へ郵送し、回収する

■ 回答数 ・ 回答率

291件 ・ 41.6%（H27：286件 ・ 40.9%）

■ 注意事項

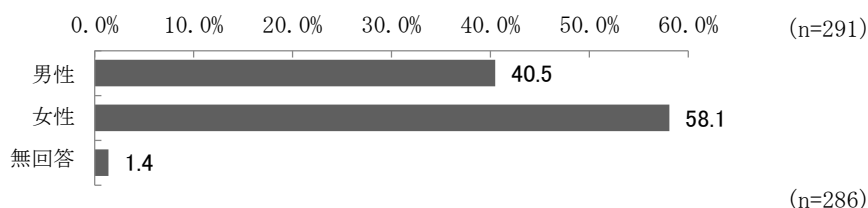
- (1) 図表中の「n」は、回答数を示しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答数を基礎として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の設問については、回答比率の合計を100%とするために、その設問の総回答数を基礎として回答比率を算出しています。

《Ⅰ. あなたご自身のことについて》

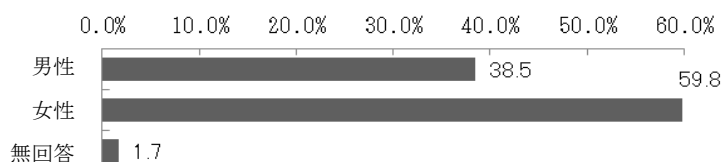
【問1】

あなたの性別はどちらですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

【R5】



【H27】

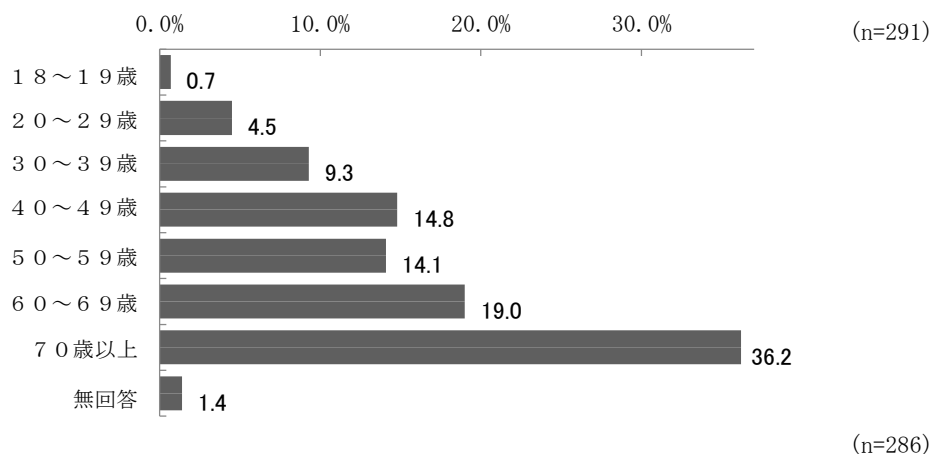


性別については、「女性」と回答した人の割合が58.1%、「男性」が40.5%となっており、前回調査時と比較して男女の割合は同程度となっています。

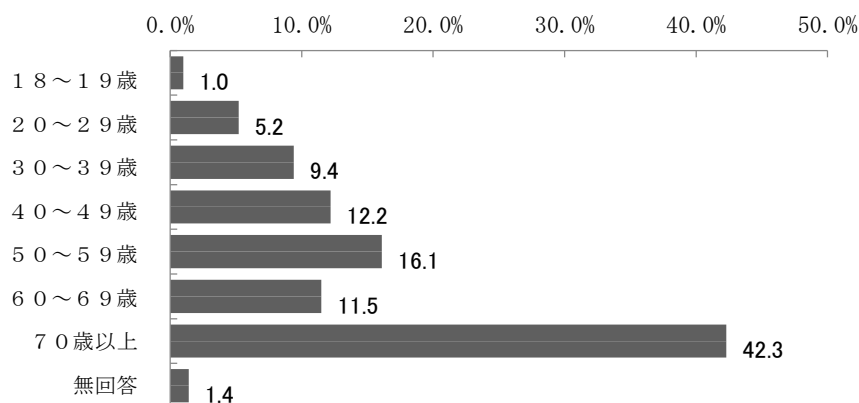
【問2】

あなたの年齢はいくつですか（令和6年1月1日現在）。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

【R5】



【H27】

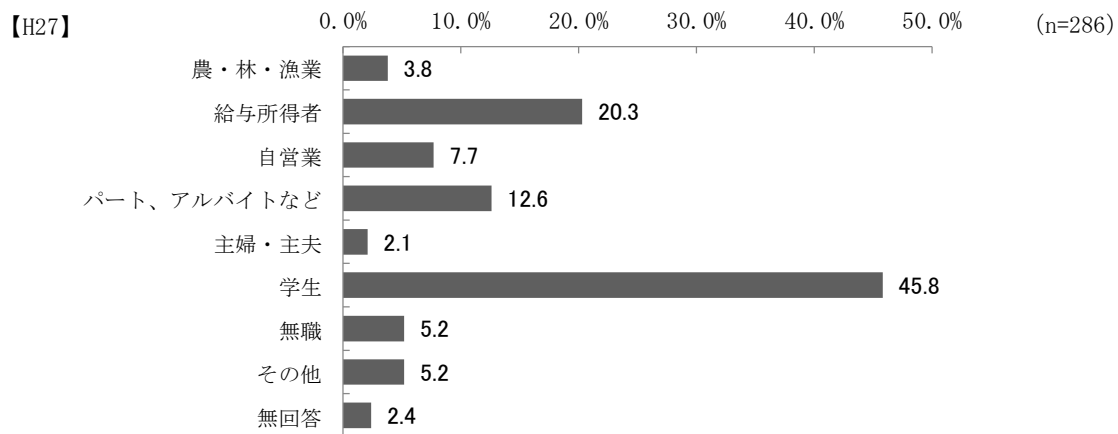
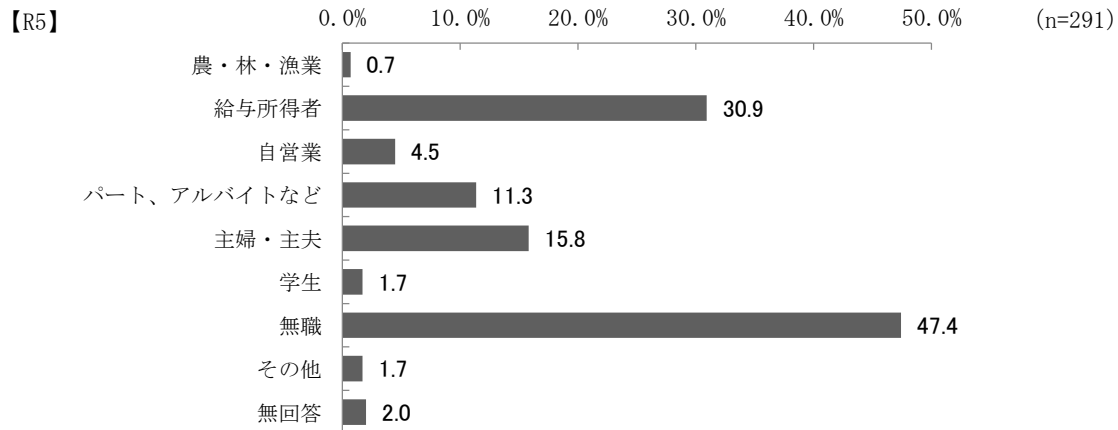


年齢については、「70歳以上」と回答した人の割合が36.2%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が19%となっています。

前回調査時と比較すると、70歳以上回答数が42.3%から36.2%と6.1ポイント減少する一方、40歳～69歳まで回答数が39.8%から47.9%に増加しています。

【問3】

あなたの職業は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

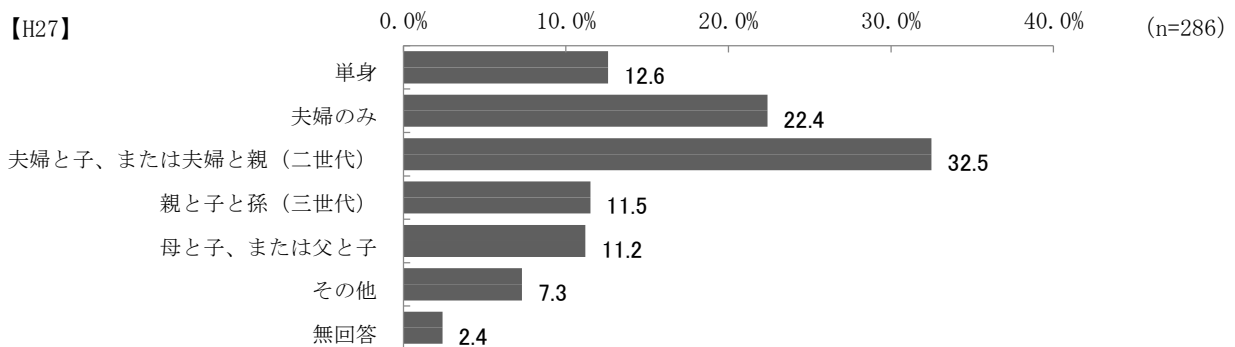
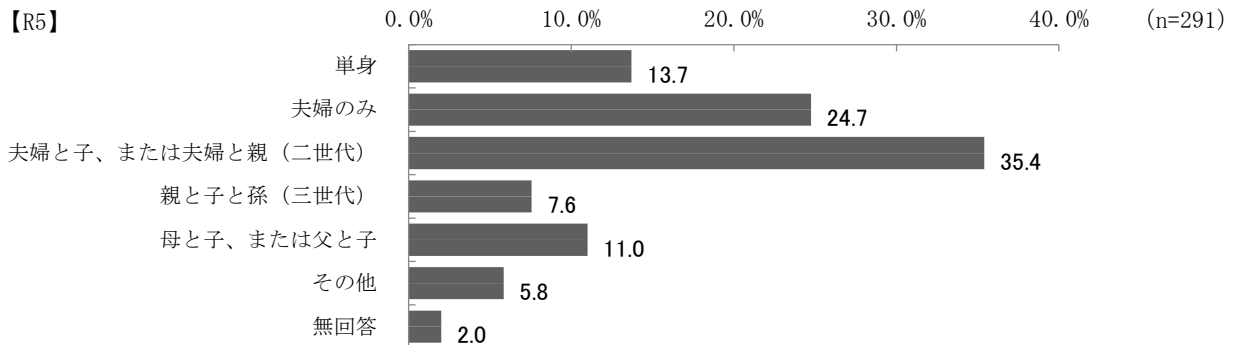


職業については、専業主婦・主夫を含む「無職」と回答した人の割合が47.4%と最も高く、次いで「給与所得者」が30.9%となっています。

前回調査時と比較すると、給与所得者からの回答が20.3%から30.9%と10.6ポイント増加しています。

【問4】

あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

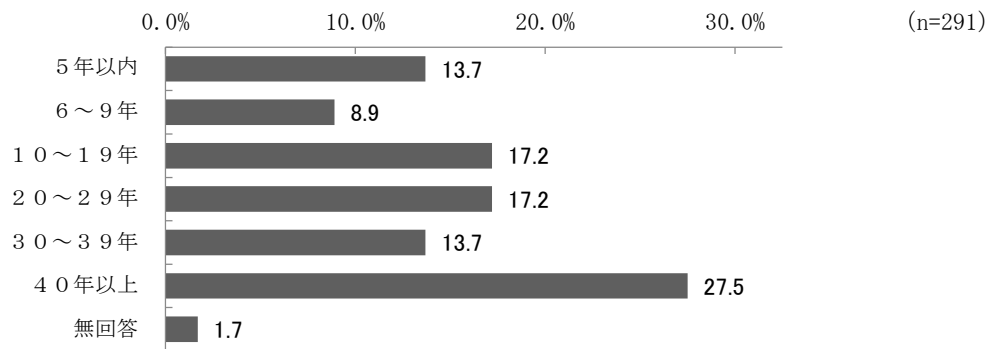
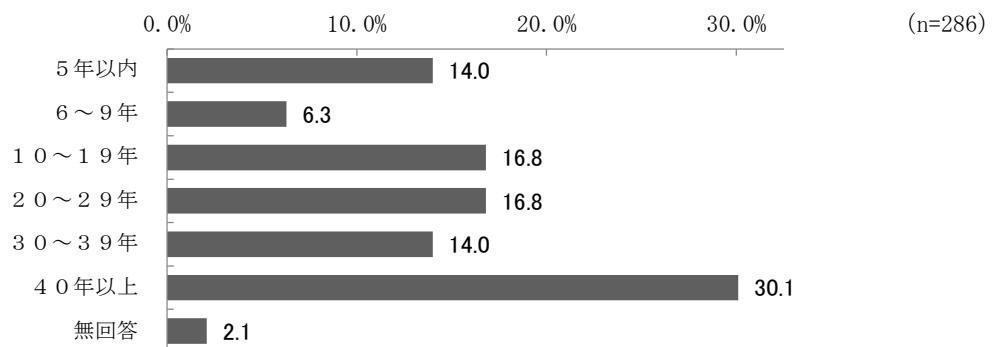


家族構成については、「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」と回答した人の割合が35.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が24.7%となっています。

前回調査時と比較すると「親と子と孫（三世代）」が減少するとともに、「単身」、「夫婦のみ」、「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が増加しており、家族構成員数が減少傾向にあるとみられます。

【問5】

あなたは、現在の地区に何年お住まいですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

【R5】**【H27】**

現在の地区に住む年数については、「40年以上」と回答した人の割合が27.5%と最も高く、次いで「10～19年」、「20～29年」が17.2%となっています。

前回調査時と比較すると、主に「40年以上」と回答した人の割合が減少する一方で、「6～9年」と回答した人の割合が増加しています。

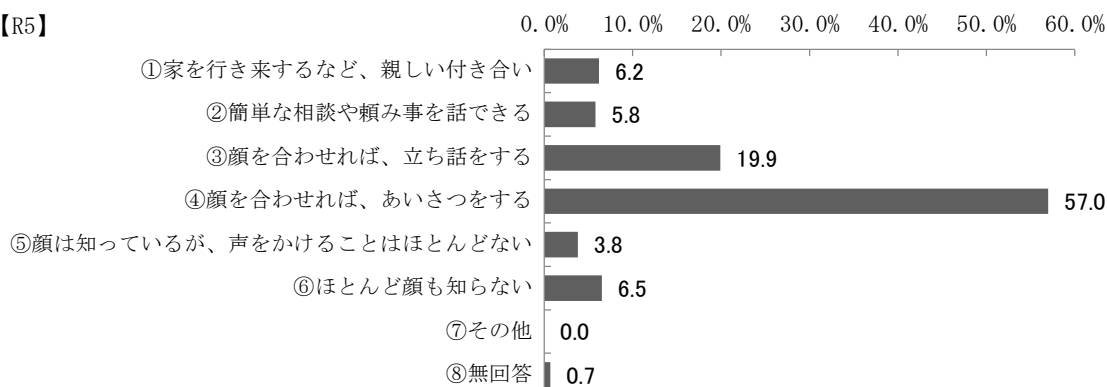
《Ⅱ. 地域の暮らしについて》

【問6】

あなたは、近所の人とどの程度のお付き合いがありますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

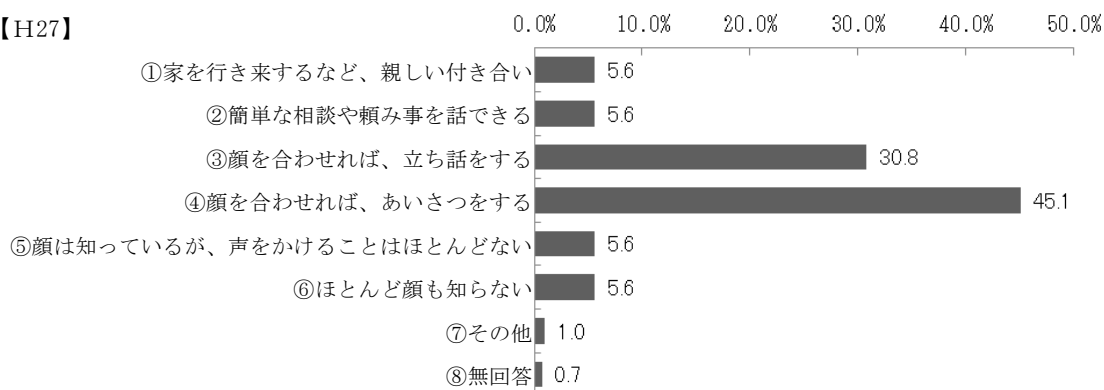
(n=291)

【R5】



(n=286)

【H27】



近所付き合いについては、「④顔を合わせればあいさつをする」と回答した人の割合が57%と最も高く、次いで「③顔を合わせれば立ち話をする」が19.9%となっています。

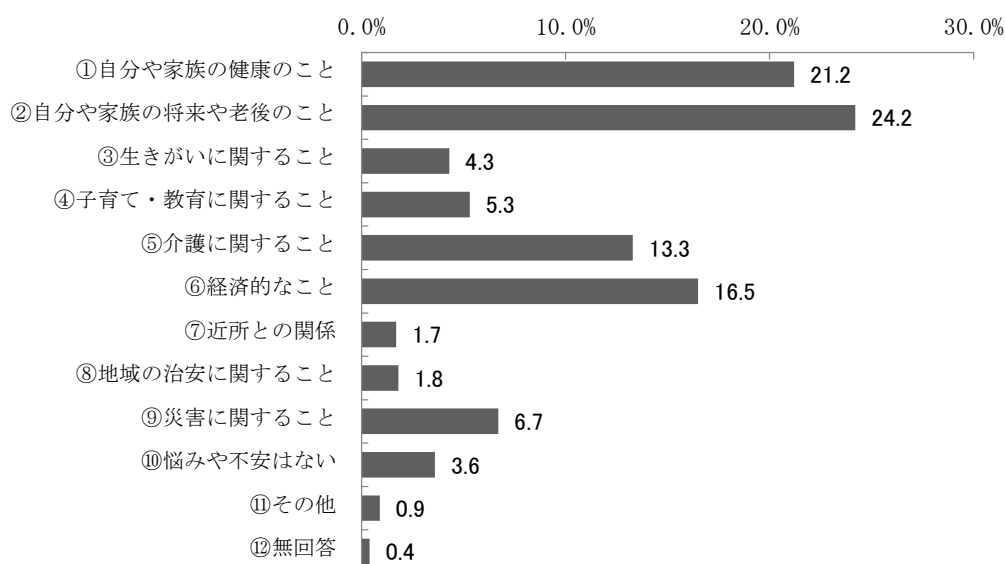
前回調査時と比較すると、近所の人とはあいさつをする程度の近所付き合いが多く、住民同士のつながりが希薄化してきています。

【問7】

あなたは、日々の生活において、どのような悩みや不安を感じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

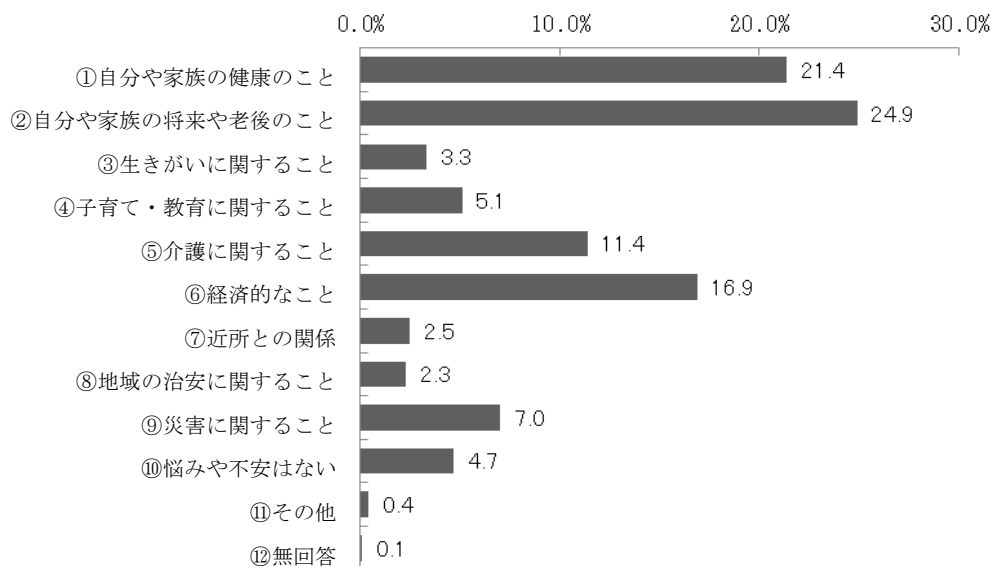
(n=759)

【R5】



(n=687)

【H27】



日々の悩みや不安については、「②自分や家族の将来や老後のこと」と回答した人の割合が24.2%と最も高く、次いで「①自分や家族の健康のこと」が21.2%となっています。

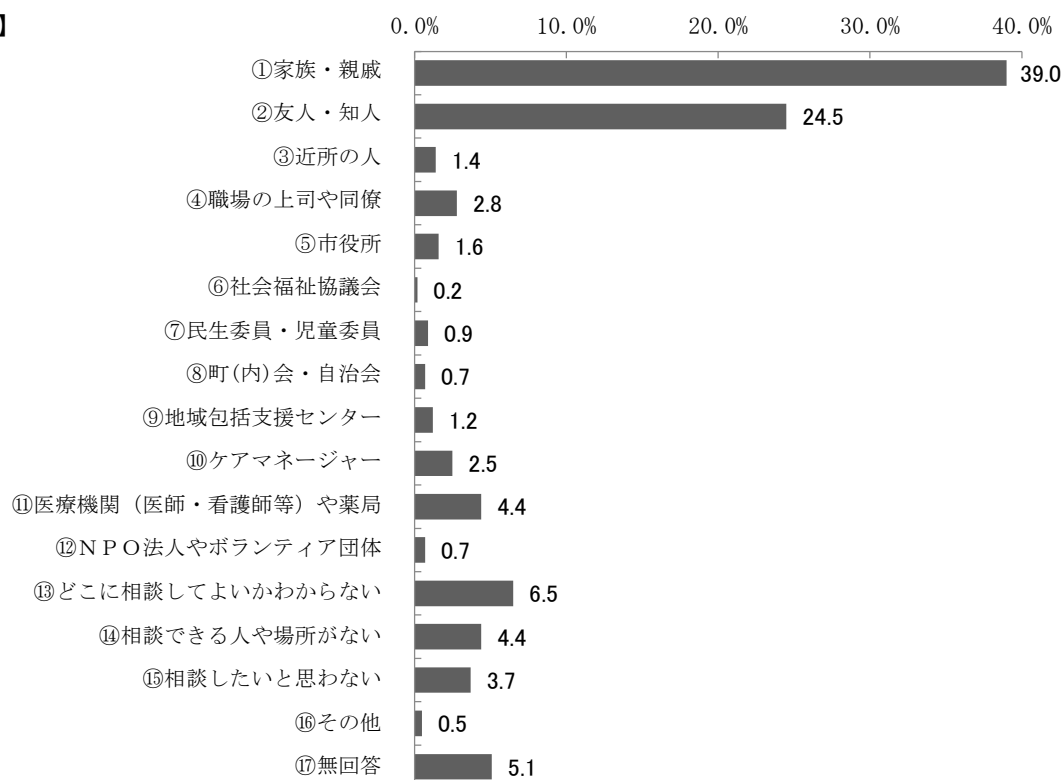
前回調査時と比較すると「①自分や家族の健康のこと」、「②自分や家族の将来や老後のこと」に加え、「③生きがいに関すること」、「④子育て・教育に関すること」、「⑤介護に関すること」などが微増しました。

【問8】＜【問7】で「悩みや不安はない」以外と回答した方のみ＞

あなたは、悩みや不安について、誰に、またはどこに相談していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

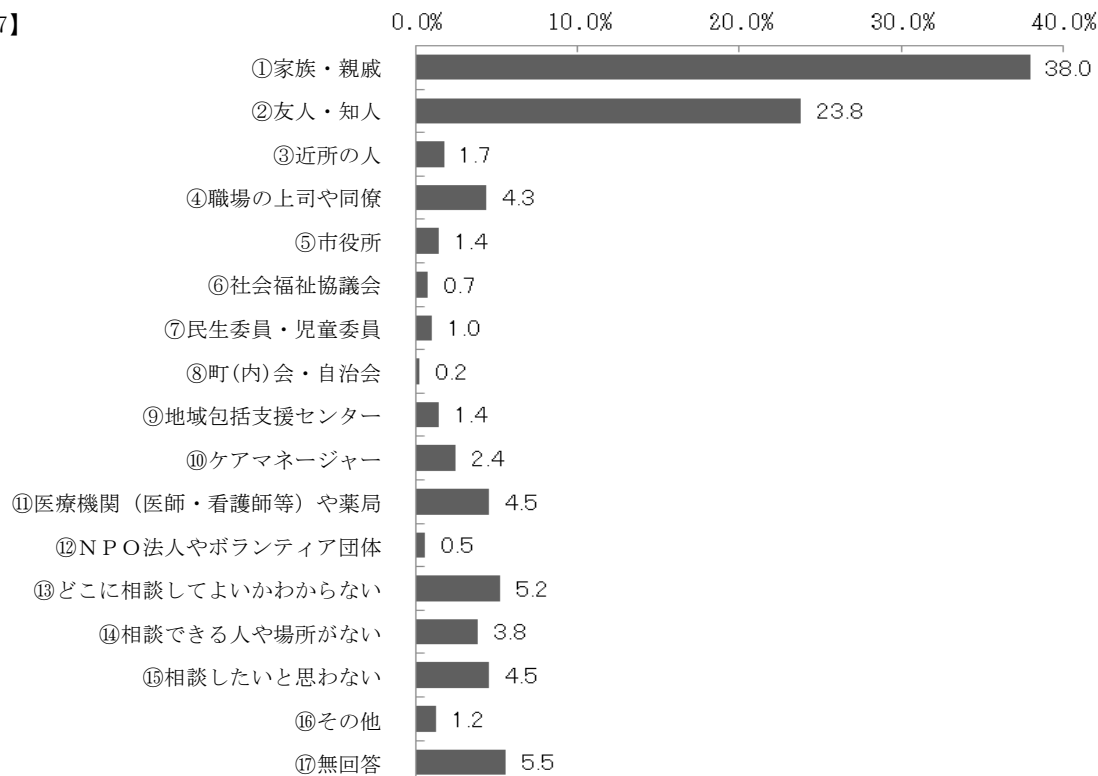
(n=433)

【R5】



(n=421)

【H27】



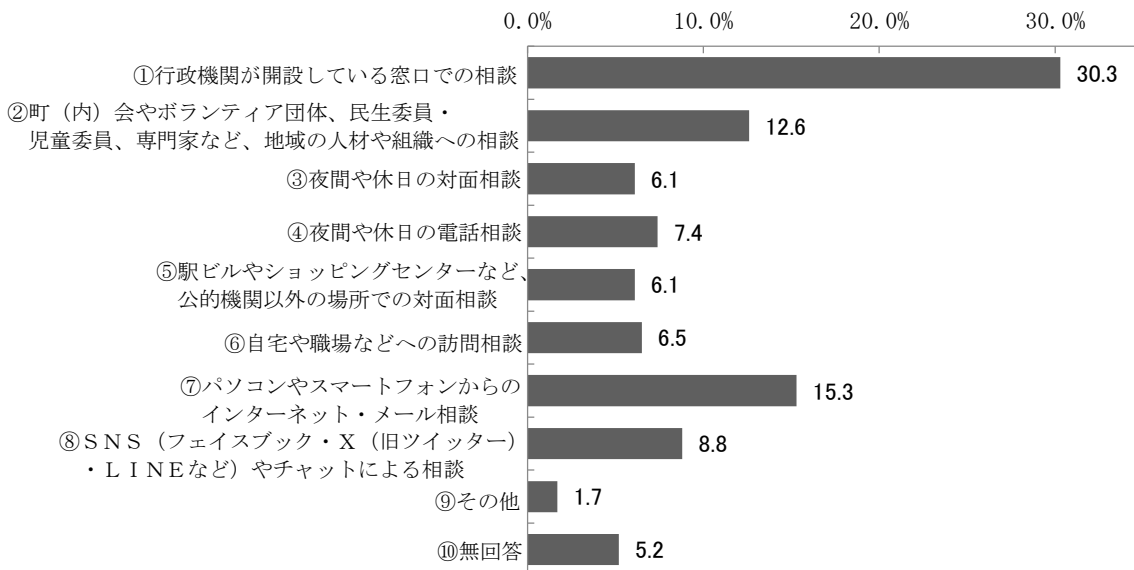
日々の悩みや不安を持っている人の相談先については、前回調査時と同様に「①家族・親戚」と回答した人の割合が39.0%と最も高く、次いで「②友人・知人」が24.5%となったほか、「⑬どこに相談してよいかわからない」、「⑭相談できる人や場所がない」と回答した人の割合が微増しています。

【問9】

あなたは、不安や悩みについて、どのような方法で相談できるとよいと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

R5（新設）

(n=524)



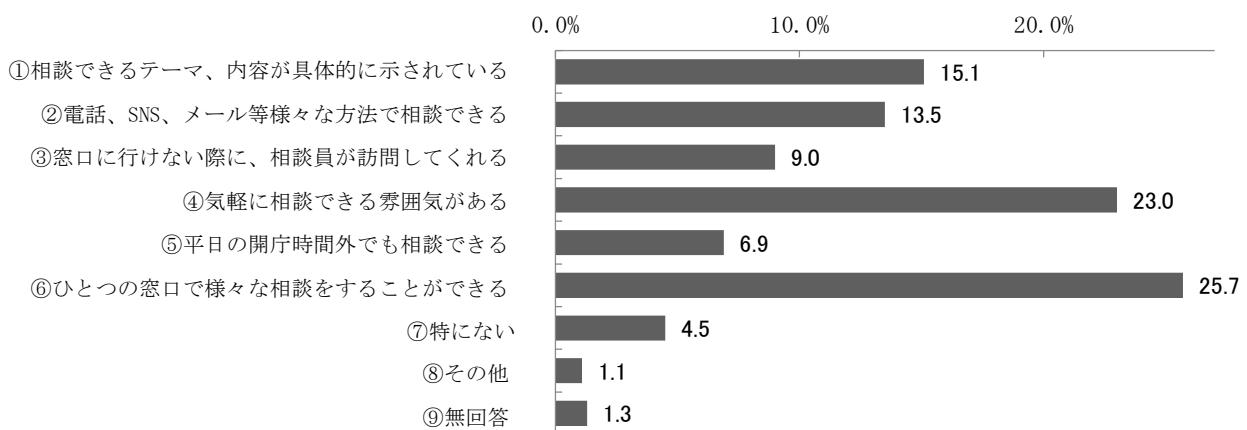
相談方法については、「①行政機関が開設している窓口での相談」と回答した人の割合が30.3%と最も高く、次いで「⑦パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」と「⑧SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）・LINEなど）やチャットによる相談」で24.1%となっています。

【問10】

今後、様々な福祉の相談をすることになったとき、相談窓口にはどのようなことを求めますか？該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

R5（新設）

(n=378)

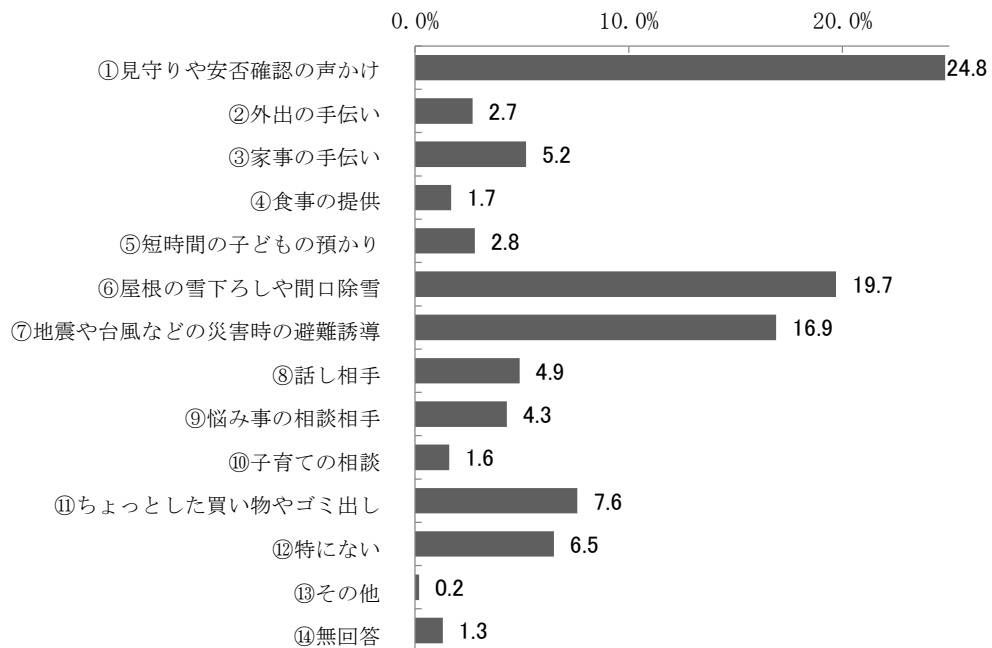


相談窓口に求められる項目については、「⑥ひとつの窓口で様々な相談をすることができる」と回答した人の割合が25.7%と最も高く、次いで、「④気軽に相談できる雰囲気がある」が23.0%となっています。

【問11】
あなたは、福祉サービスや支援のうち、近所や地域の人による支援が必要と考えるものは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

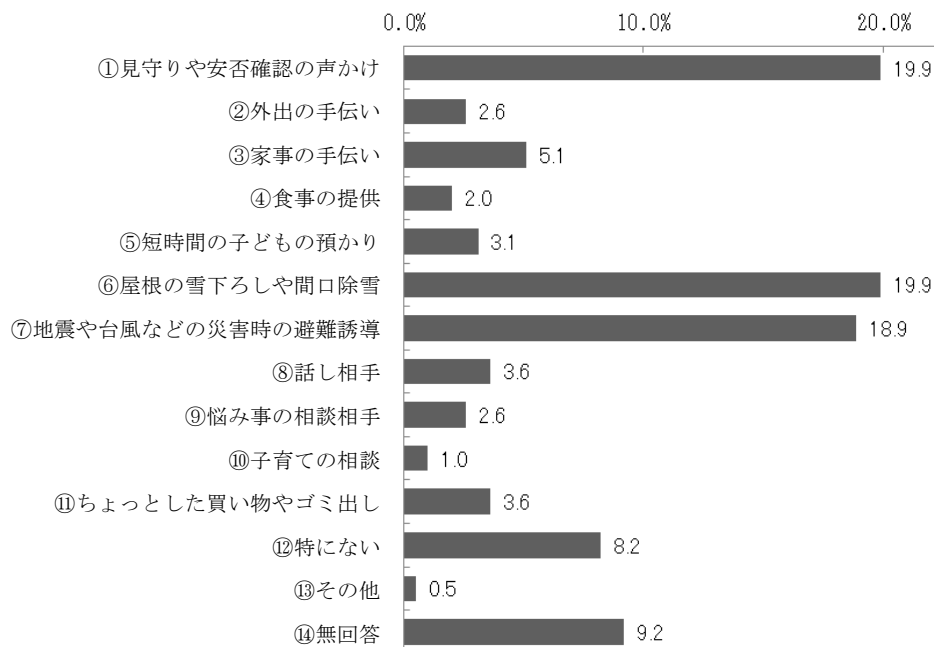
(n=634)

【R5】



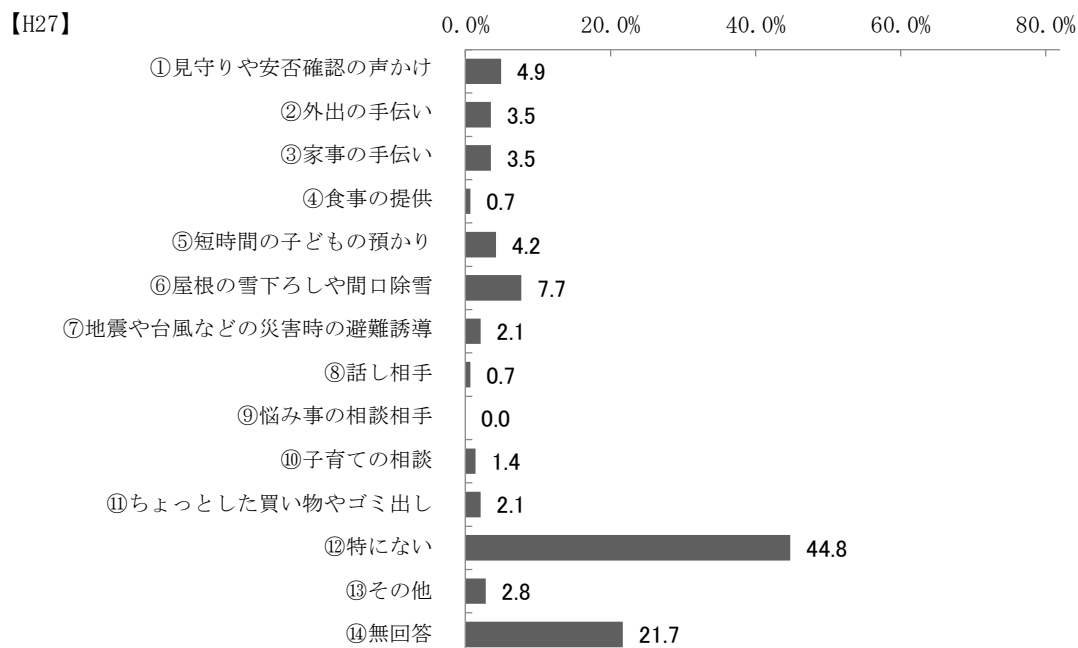
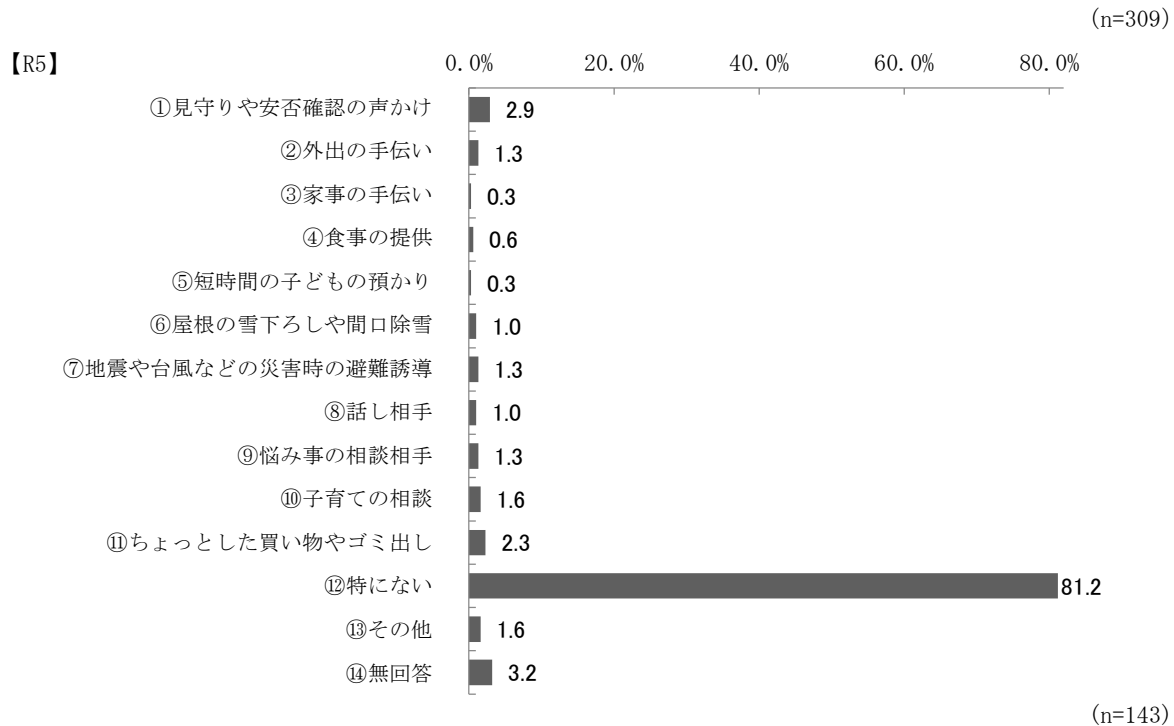
(n=196)

【H27】



必要としている福祉サービスや支援のうち近所や地域の人に支援してほしいものについては、前回調査時と同様、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した人の割合が24.8%と最も高くなっており、次いで、「⑥屋根の雪下ろしや間口除雪」の割合も高くなったほか、「⑧話し相手」、「⑨悩み事の相談相手」の割合が微増しています。

【問12】
あなたが、福祉サービスや支援のうち、実際に受けている福祉サービスや支援は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

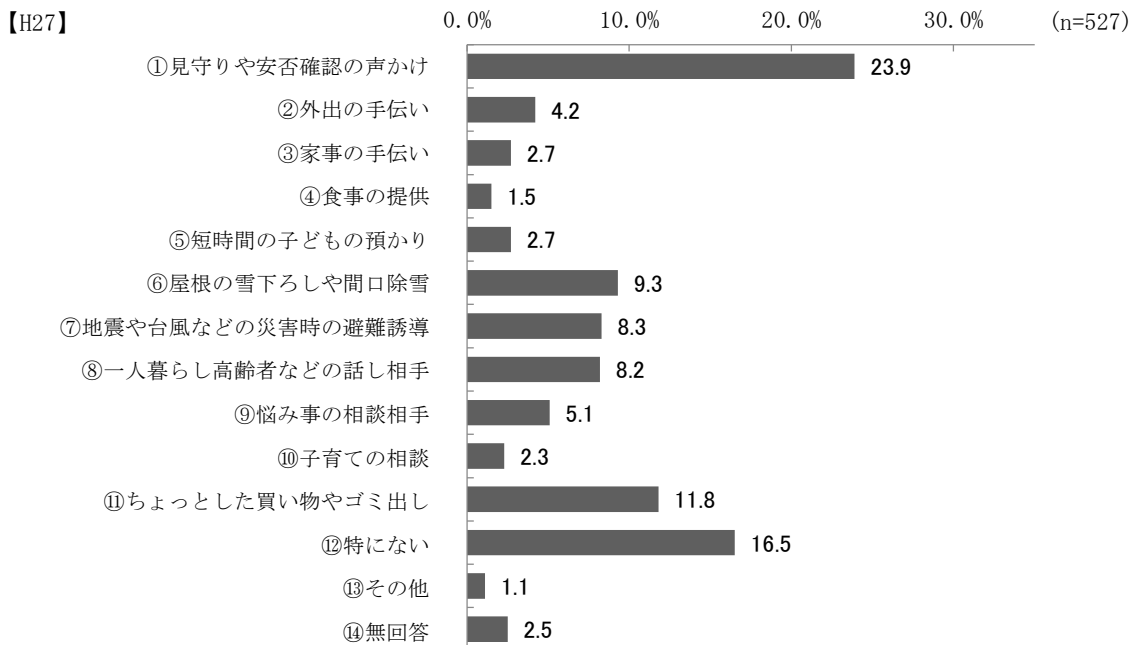
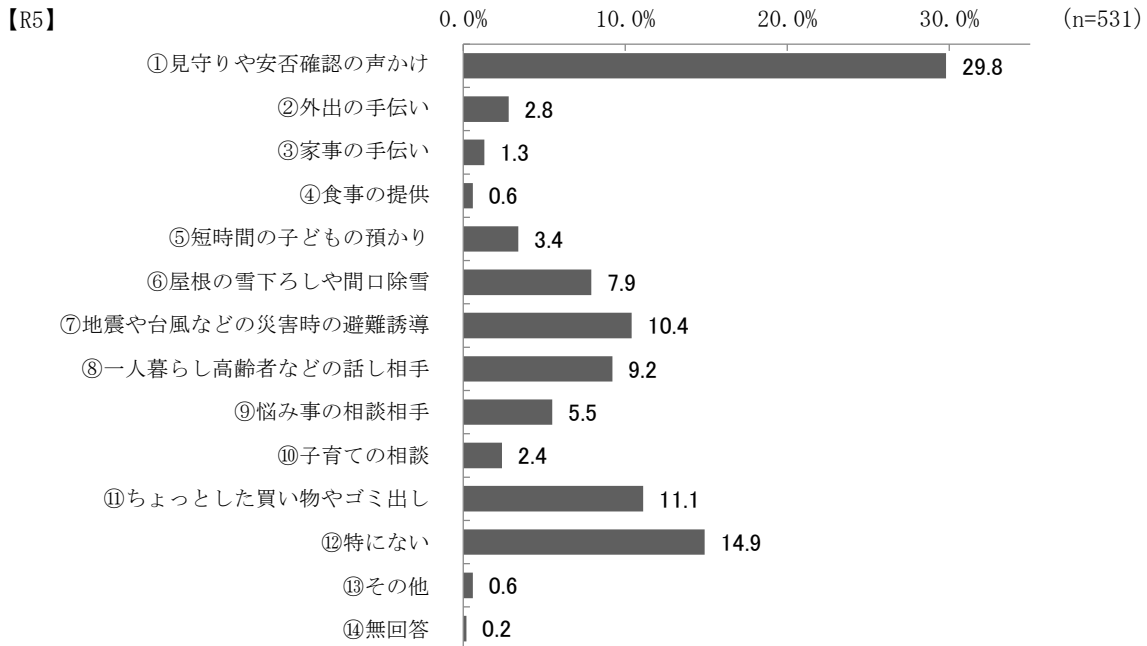


必要としている福祉サービスや支援のうち実際に受けているサービスや支援については、「⑫特にない」と答えた人の割合が最も高く81.2%となっています。

前回調査時と比較すると各種福祉サービスを実際に受けていると回答した人の割合が減少しています。

【問13】

近所に、日々の生活において、支援を必要としている人がいた場合、あなたはどのような手助けができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



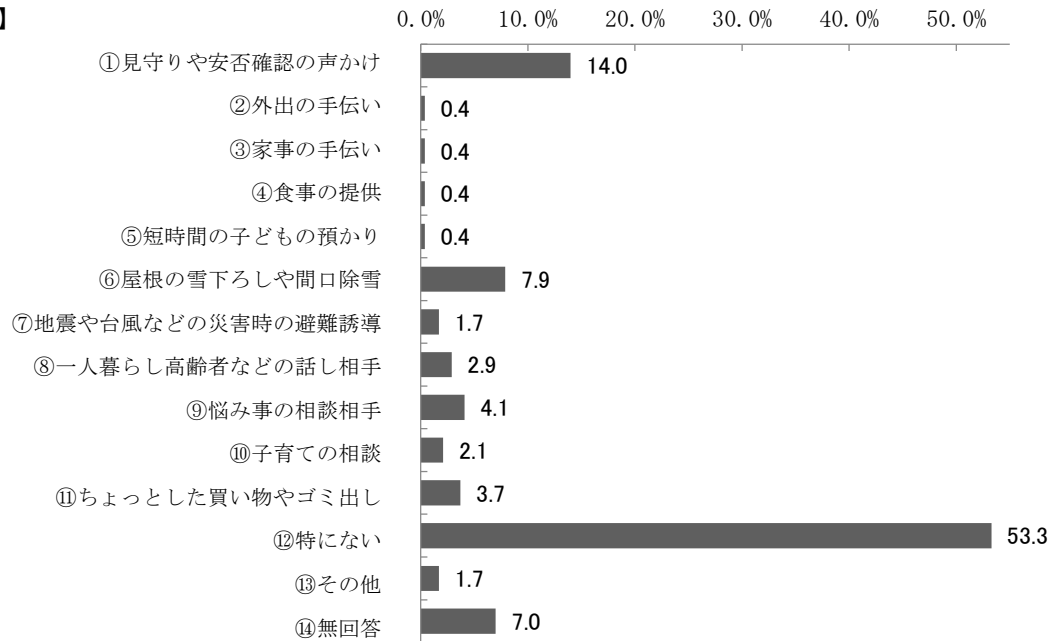
どのような手助けができるかについては、前回調査時と同様「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した人の割合が29.8%と最も高くなっています。

また、前回調査時と比較すると、「⑫特にない」と回答した人の割合が減少し、「①見守りや安否確認の声かけ」、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」の手助けができると回答した人の割合が増加しています。

【問14】＜【問13】で「12」以外を回答した方のみ＞
問13で近所の方に手助けが可能と答えた項目のうち、あなたが実際に行っている手助けはどのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

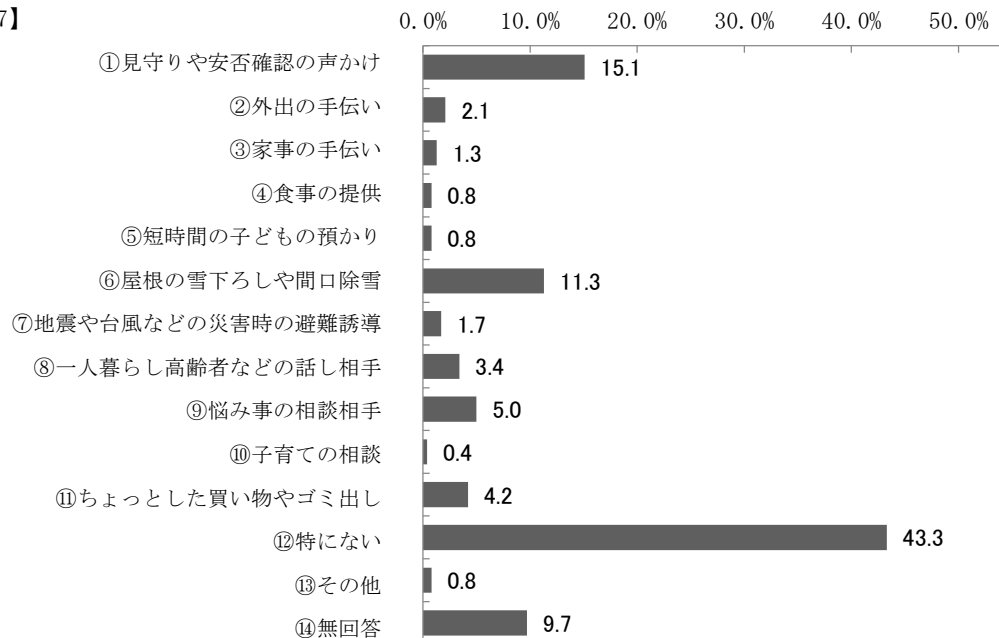
(n=242)

【R5】



(n=238)

【H27】

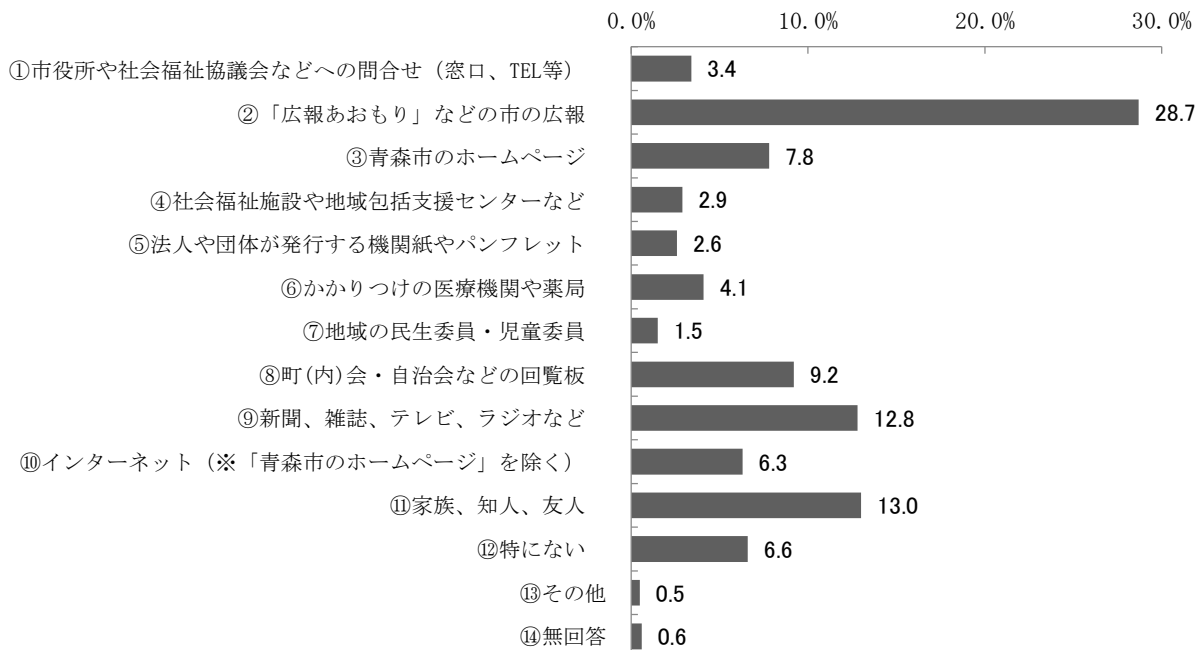


手助けが可能な支援のうちの実際に行っている手助けについては、「⑫特にない」と答えた人の割合が最も高く53.3%となり、前回調査時よりも10ポイント高くなっています。
前回調査時と比較して実際に行っている手助けについては、総じて減少しています。

【問15】
あなたは、福祉サービスに関する情報をどのようにして入手していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

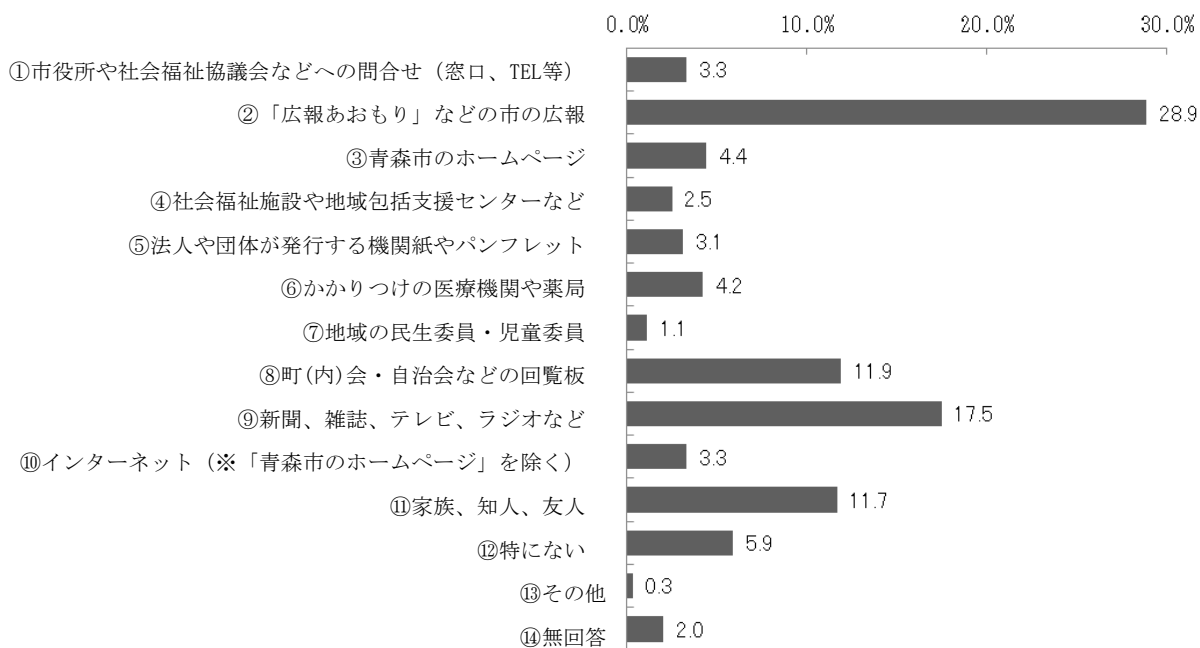
【R5】

(n=654)



【H27】

(n=641)



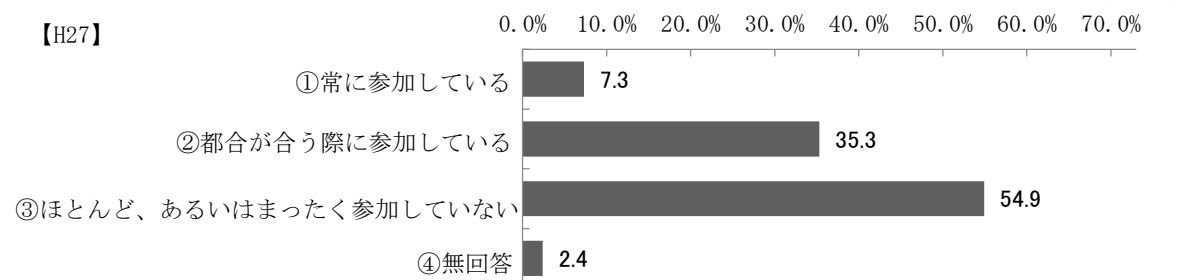
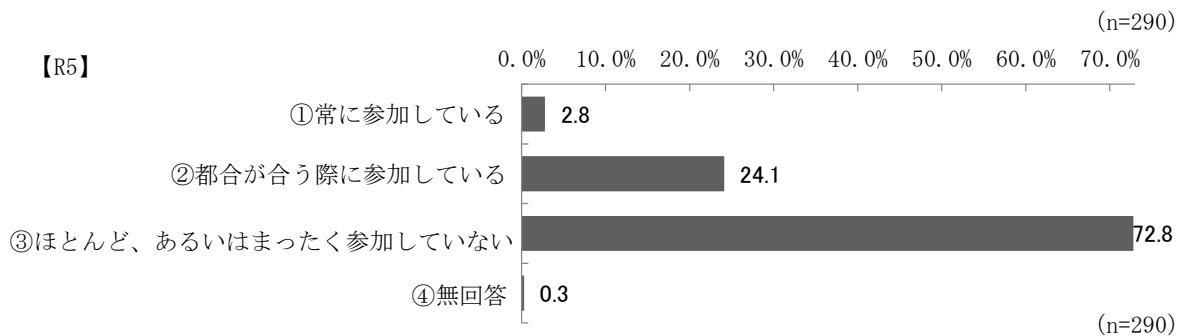
福祉サービス情報をどのように入手しているかについては、「②「広報あおもり」などの市の広報」と回答した人の割合が28.7%と最も高く、次いで「⑪家族、知人、友人」が13.0%となっています。

前回調査時と比較すると「⑨新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど」や「⑧町（内）会・自治会などの回覧板」と回答した人の割合が減少する一方で、「③青森市のホームページ」や「⑩インターネット」と回答した人の割合が増加しています。

Ⅲ. 地域との関わりについて

【問16】

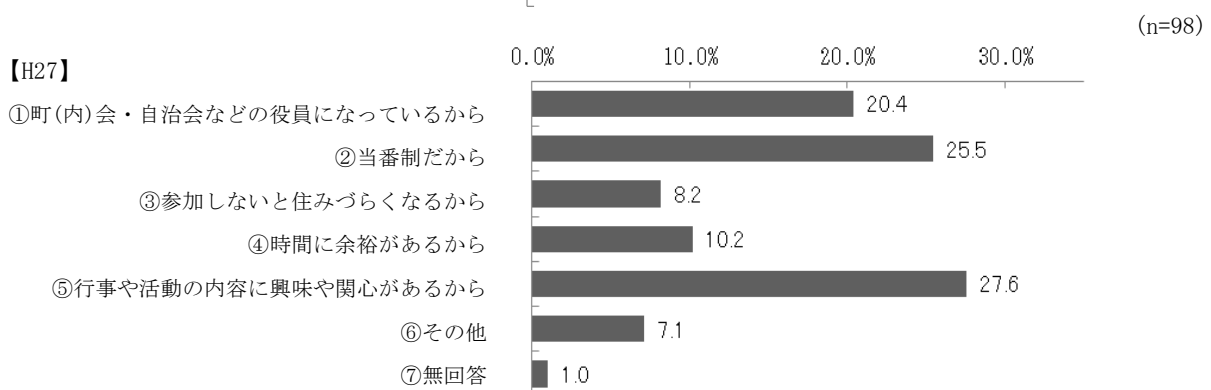
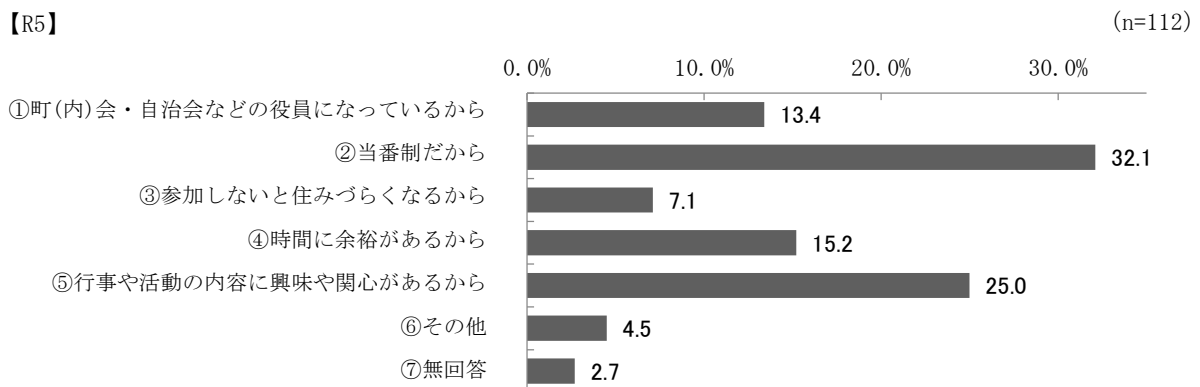
あなたは、町(内)会などが行う地域活動にどの程度参加していますか。該当するものに○をつけてください。(○は1つ)



地域活動への参加状況については、「③ほとんど、あるいは全く参加していない」と回答した人の割合が72.8%となり、前回調査時と比較すると17.9ポイント増加しています。

【問17】 <【問16】で1又は2と回答した方のみ>

町会などが行う地域活動に参加している理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



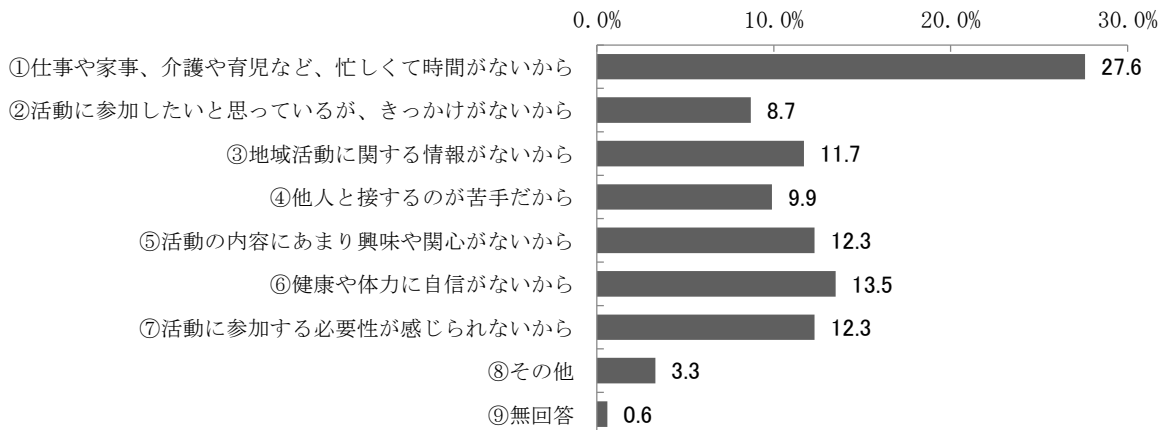
地域活動に参加している理由については、前回調査時と比較すると「⑤行事や活動の内容に興味や関心があるから」に換わり、「②当番制だから」と回答した人の割合が32.1%と最も高くなっています。

【問18】 <【問16】で3と回答した方のみ>

町会などが行う地域活動に参加しない（できない）理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

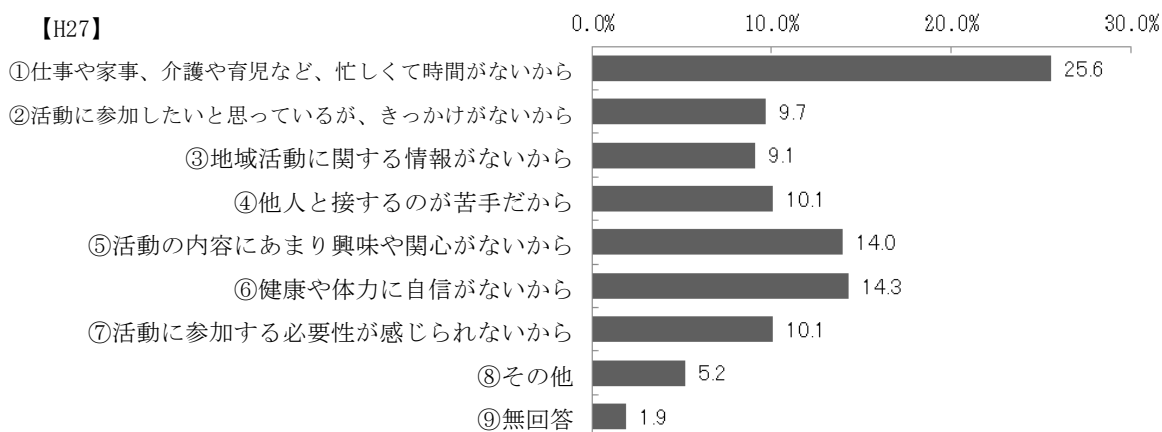
【R5】

(n=333)



【H27】

(n=308)



地域活動に参加しない（できない）理由については、「①忙しくて時間がないから」と回答した人の割合が27.6%と最も高くなっています。

前回調査時と比較して、「③地域活動に関する情報がないから」や「⑦活動に参加する必要性を感じられないから」と回答した人の割合が高くなっています。

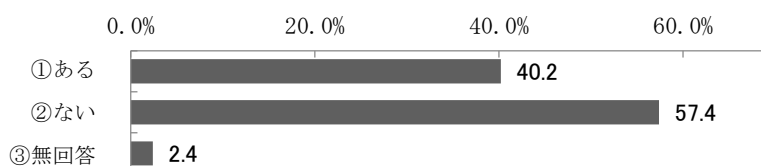
Ⅳ. ボランティア活動について

【問19】

あなたは、これまでに、ボランティア活動に参加したことがありますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

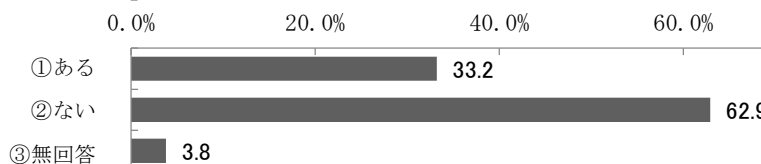
【R5】

(n=291)



【H27】

(n=286)

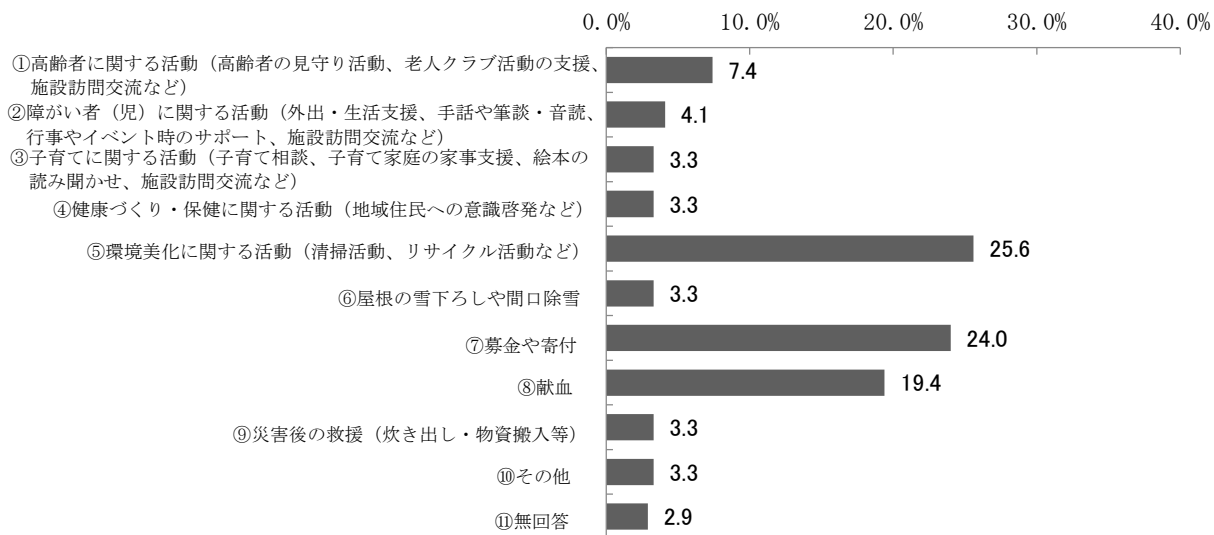


前回調査時と比較して、ボランティア活動への参加状況については、「①ある」と答えた人の割合が増加し、40.2%となっています。

【問20】<【問19】で「ある」と回答した方のみ>
 これまでに参加したボランティア活動（学校や職場での活動を含む）は、どのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

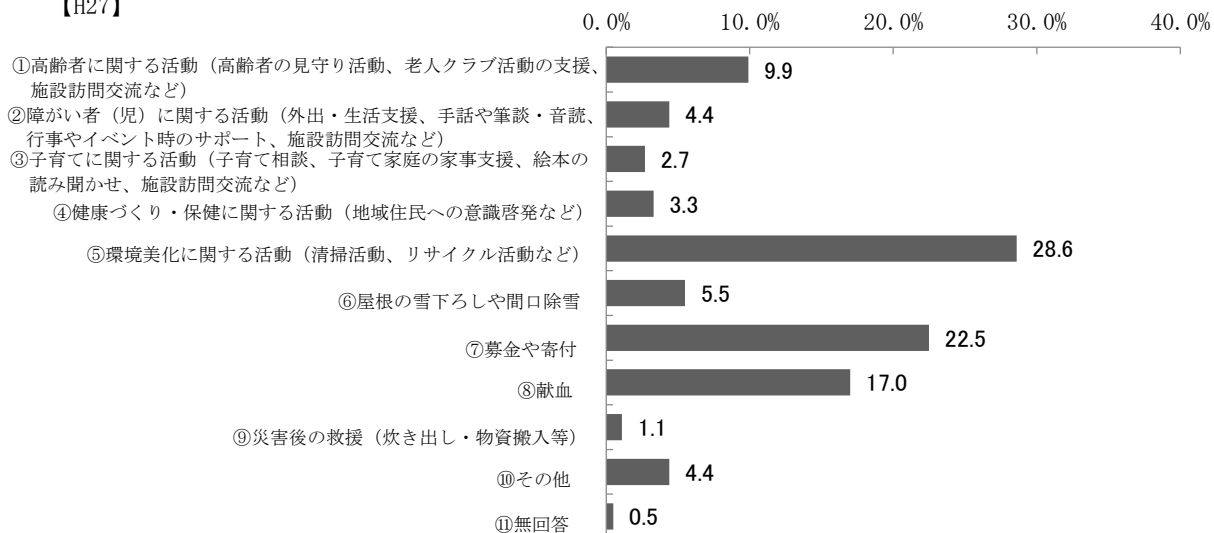
【R5】

(n=242)



(n=182)

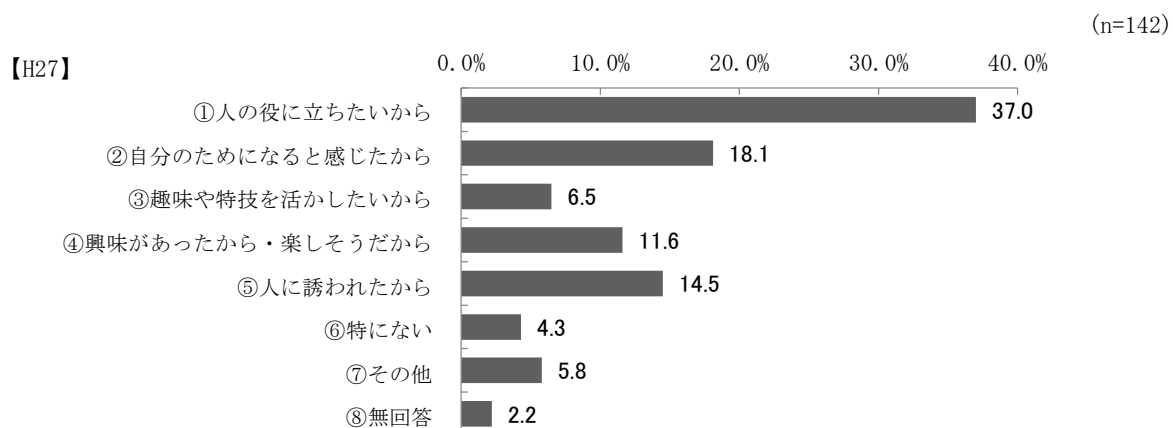
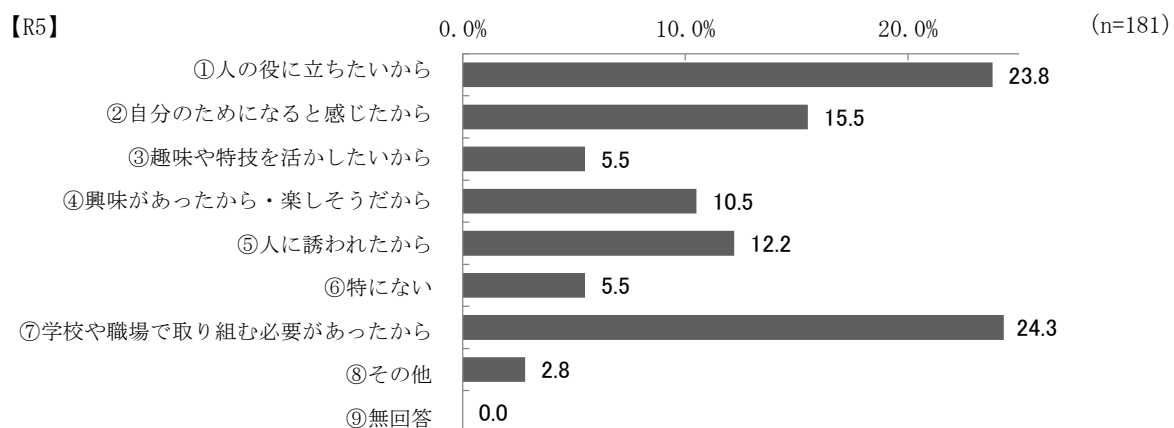
【H27】



参加したボランティア活動については、前回調査時と同様に「⑤環境美化に関する活動」と回答した人の割合が25.6%と最も高くなっており、次いで、「⑦募金や寄付」、「⑧献血」と回答した人の割合が高くなっています。

【問21】 <【問19】で1と回答した方のみ>

ボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



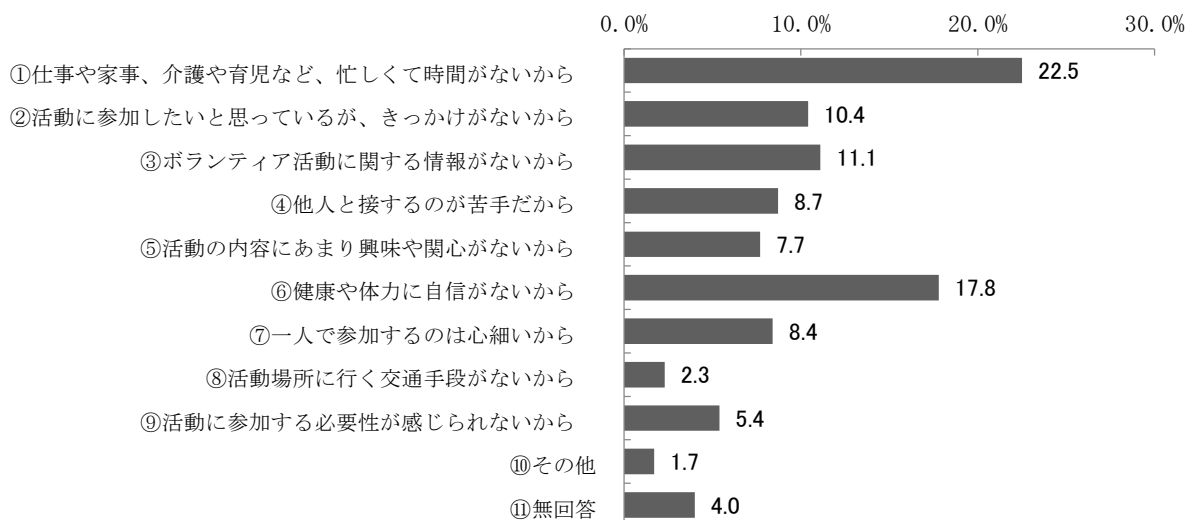
ボランティア活動に参加したきっかけについては、前回調査時に最も多かった「①人の役に立ちたいから」と、今回調査時に追加した項目である「⑦学校や職場で取り組む必要があったから」と回答した人の割合が同程度で高くなっています。

【問22】＜【問19】で2と回答した方のみ＞

ボランティア活動に参加しない（できない）理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。
（複数回答）

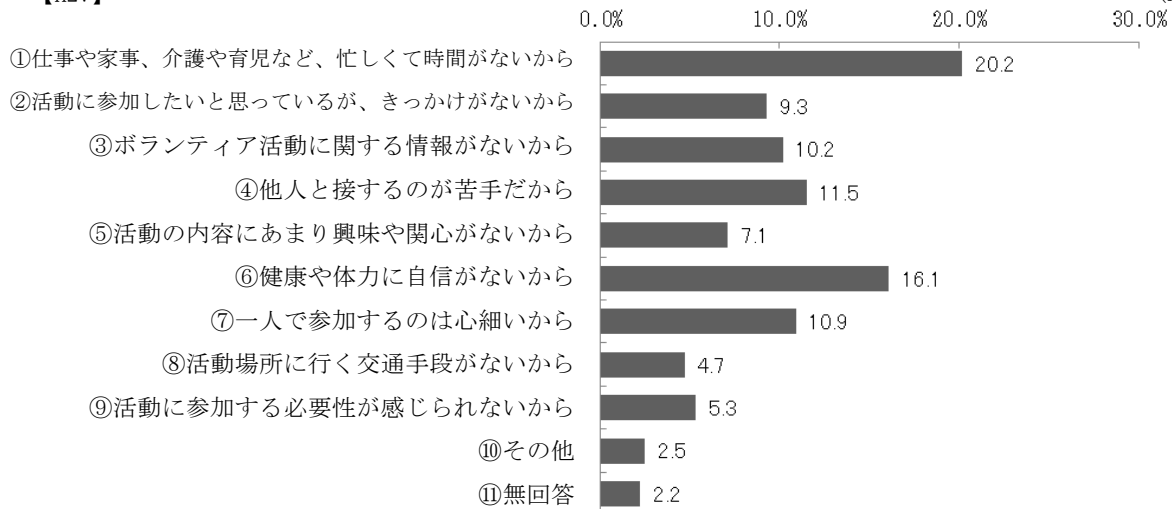
【R5】

(n=298)



【H27】

(n=322)



ボランティア活動に参加しない（できない）理由については、前回調査時と同様に「①忙しくて時間がない」と回答した人の割合が22.5%と最も高く、次いで「⑥健康や体力に自信がない」が17.8%となっています。

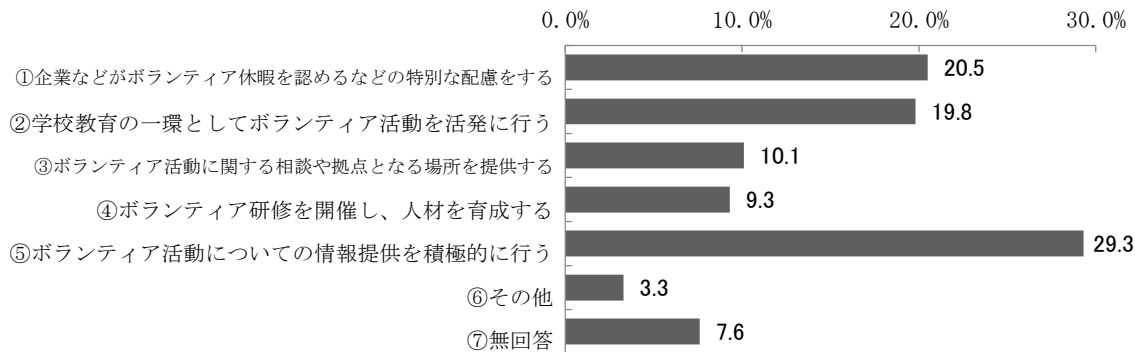
上記項目に加え、「②活動に参加したいと思っているが、きっかけがないから」、「③ボランティア活動に関する情報がないから」といった項目を回答した人の割合が前回調査時よりも高くなっています。

【問23】

あなたは、どのような条件が整えばボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

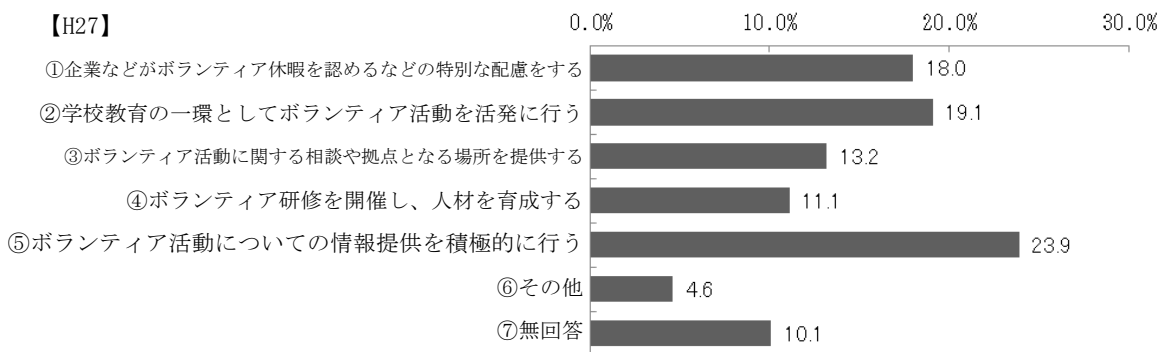
【R5】

(n=484)



【H27】

(n=539)



ボランティア活動に参加しやすくなる条件については、「⑤ボランティア活動についての情報提供」と回答した人の割合が29.3%と最も高く、次いで「①企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする」が20.5%となっており、前回の調査と比較すると増加しています。

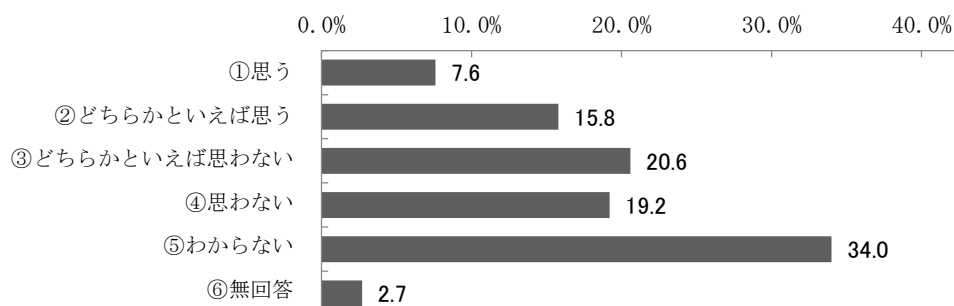
《Ⅴ. 再犯防止に関するあなたの考えについて》

【問24】

あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか？該当するものに○をつけてください。
(○は1つ)

R5（新設）

(n=291)



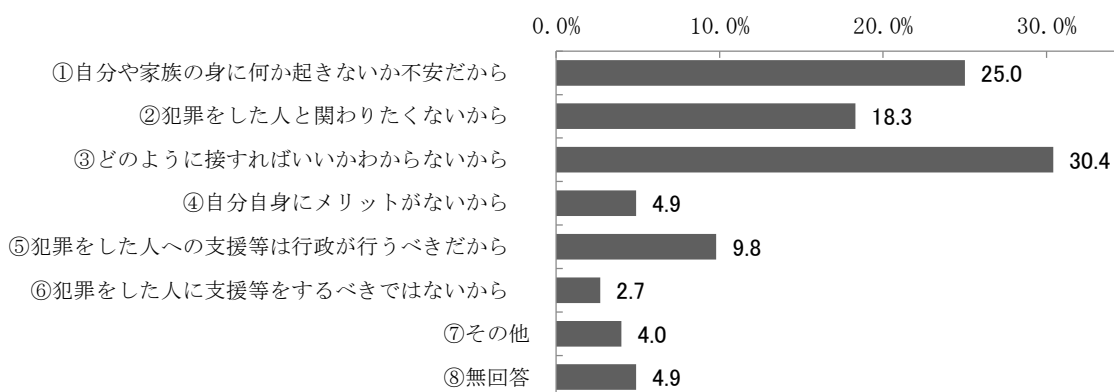
犯罪をした人の立ち直りに協力したいかについては、「⑤わからない」と回答した人の割合が34.0%と最も高く、次いで「③どちらかといえば思わない」が20.6%となっています。

【問25】 <【問24】で「3」、「4」と回答した方のみ>

思わないと答えた理由は何ですか？該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

R5（新設）

(n=224)



思わないと答えた理由については、「③どのように接すればいいかわからないから」と回答した人の割合が30.4%と最も高く、次いで「①自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が25.0%、「②犯罪をした人と関わりたくないから」が18.3%となっています。

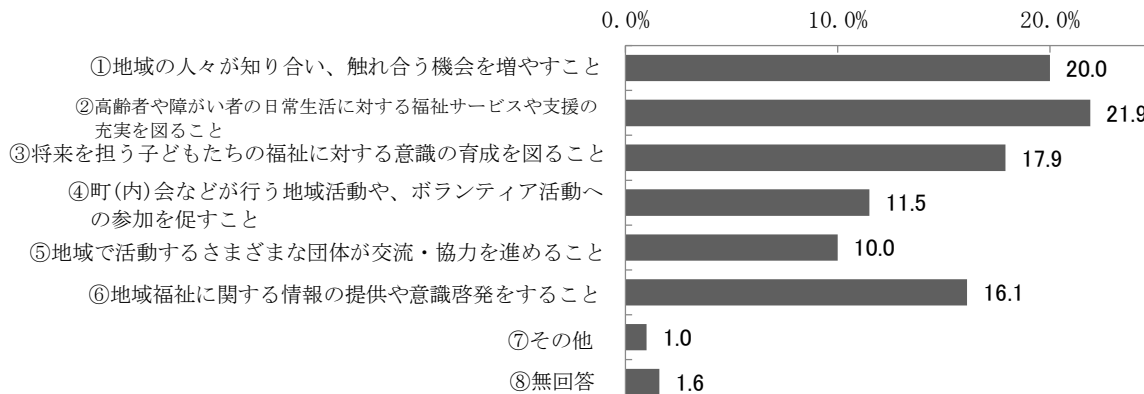
《VI. 地域福祉に関するあなたの考えについて》

【問26】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたは、どのような取り組みが必要であると考えますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

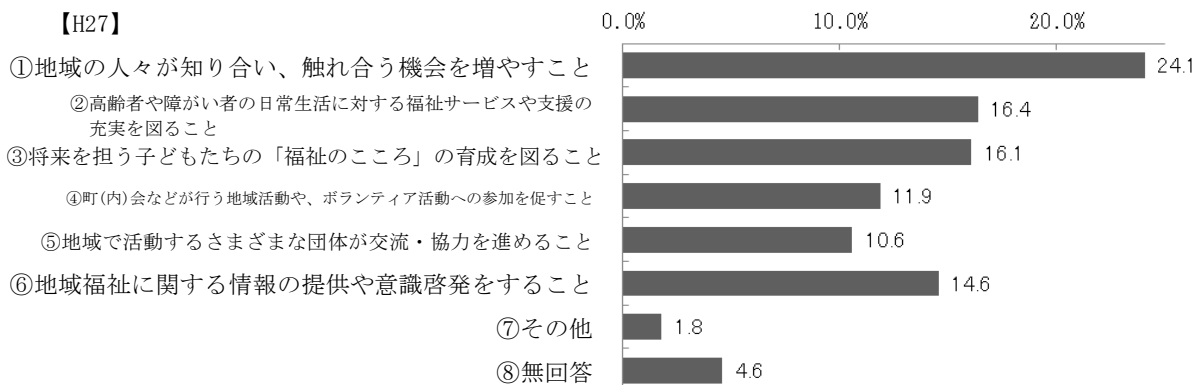
【R5】

(n=620)



(n=615)

【H27】



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために必要な取り組みについては、「②高齢者や障がい者の日常生活に対する福祉サービスや支援の充実を図ること」と回答した人の割合が前回調査時よりも大幅に増加し、最も高い21.9%となっています。

次いで、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」が前回調査時よりも減少したものの20.0%となっています。

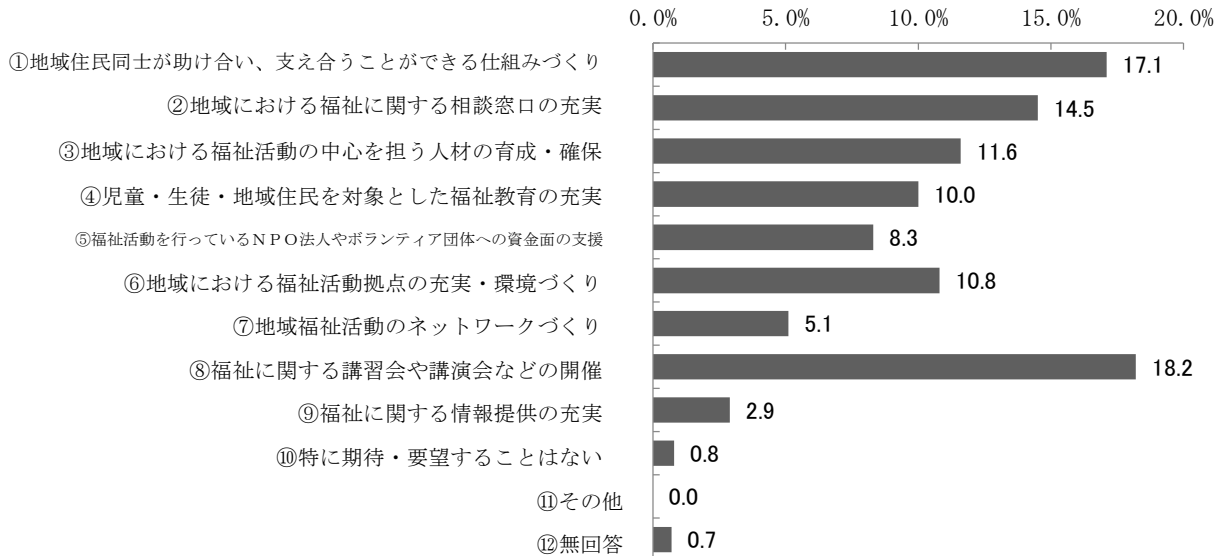
このほか、「③将来を担う子どもたちの「福祉のこころ」の育成を図ること」及び「⑥地域福祉に関する情報の提供や意識啓発をすること」が増加しています。

【問27】

あなたは、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

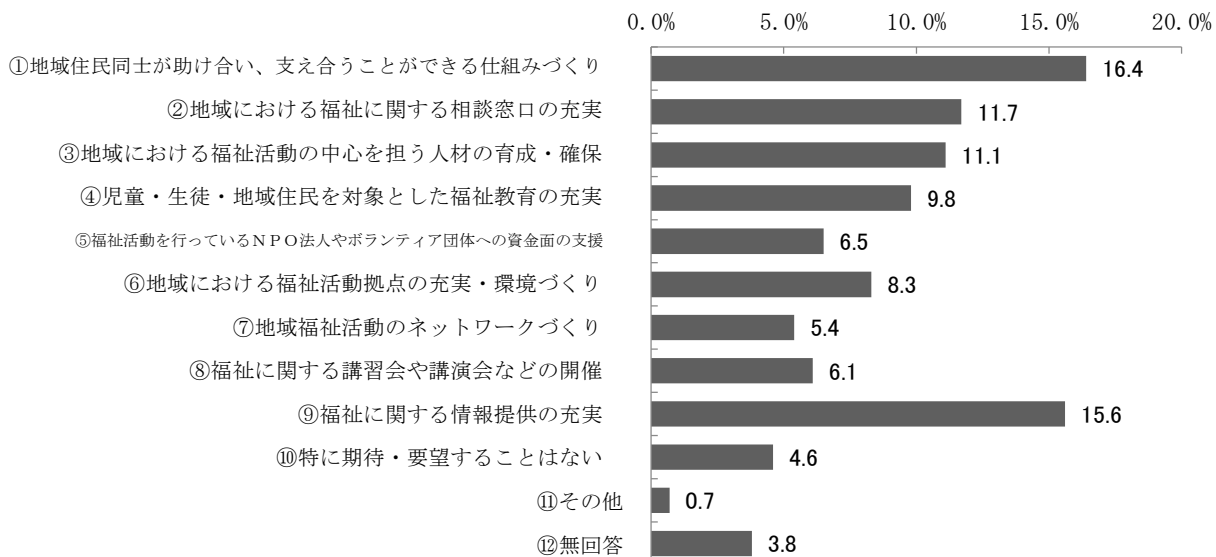
【R5】

(n=731)



【H27】

(n=703)



地域福祉を進める上で行政に期待・要望することについては、「⑧福祉に関する講習会や講演会などの開催」と回答した人の割合が18.2%と最も高く、次いで、「①地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり」の17.1%、「②地域における福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」の14.5%となっています。

前回調査時と比較すると、「⑧福祉に関する講習会や講演会などの開催」が12.1ポイント、「②地域における福祉に関する相談窓口の充実」が2.8ポイント、「⑥地域における福祉活動拠点の充実・環境づくり」が2.5ポイント増加しています。

【問28】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

別紙参照

【問28】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

【近所付き合い・地域住民の交流】

	回答内容
1	多世代交流ができる機会、場が増えればいいと思う。 近所の人は高齢の方が多く、関わりたくてもなかなか関わりづらさがるので、少しでもそうした機会があれば住民同士の見守り合う環境づくりが強化されると思う。
2	町内は高齢者が大半を占め、若い人は市内中心部へ移り住んでますます町内運営が難しくなっている現状です。 また、亡くなったりして空き家が増えて隣同士のつながりは希薄になっています。 それこそ限界集落という言葉があちこちに普通に使われる地域も私たちが考えるよりも早めていくと思う。
3	アパートが何棟も建てられる中、元々の地域の住民の方が高齢になっても頑張ってくださっているが、アパートの住民にはうまく伝わっておらず町会制の限界を感じる。
4	住民同士の助け合い、ボランティアの普及。
5	私の住んでいる町内は新しい家が多く、人と人の集いがありません。 近所の方とはゴミ出しの時以外は会うこともなく、日中はこの辺では私一人です。 回覧板を回すくらいで、名前も分からない人達ばかりです。 集会所という所もなく、年に一度ぐらい会って町内の事やゴミ当番の事などを話したいと思いますが。

【福祉施設・活動拠点の充実】

	回答内容
1	1人暮らしのご老人だけでなく、1人暮らしの若い方にも安心と安全に暮らせるような良い方法が欲しい。 老若男女気兼ねなく集えて交流が持てるスペース（夜も）等があれば良いが、ただの溜まり場にならないような工夫も必要かなとも思う。 孤独に思っている方を孤独にさせない。 老人や子供が集う場ともなると足の為に送迎バスが必要になってしまうなどの懸念点もあるかもしれないが。
2	青森は雪国のため、雪が過ぎやすいかそうでないかで左右されると思います。 子育てしていくなかで、もっと子どもが体を動かせる無料の公園があるとありがたいです。 小学校低学年からタブレットではなく、どう体力や心を作っていかなければならないかだと思います。

【意識啓発・高揚】

	回答内容
1	定年になって久々に戻りましたが、地域の方々とのお考え方・物事の取組み方に合わせるのに戸惑っています。 新しいことをするにも若手（60代）が上に立つことはなかなか難しいです。 協力ありません、地盤を作ることが大事だと思います。 リーダーの資質、地域の協力が必要です。
2	地域や職場の域を超えて同じような思いを持ち様々な苦労や悩みを抱えている方がリアルとオンラインの双方で繋がり、それぞれの苦労や悩みを乗り越えられる次の一歩へ踏み出すきっかけを作れる場があれば、地域福祉の充実を「心のケア」の面で支援しやすくなると思う。
3	このようなアンケート機会をいただきありがとうございます。 1/1の北陸の大地震もありましたし、いつ青森でも起きるか不安になります。 自分で準備できるところはしっかり備え、あとは地域の方々の協力体制や行政の力に頼ることになります。 やはりふだんから隣近所のコミュニケーションを大切にしてお互い様の思いで協力し合うことが大切になると思います。 うちの近くに町内会の幹事役員の方がいらっしゃるので雪のこととかもいつも話できます。
4	協力することに参加してほしい。 出席する人とそうでない人がいて一人の時もあります。 声掛けした人が悪者になるので、それが嫌でしないで終わっている、こういうことが不満です。
5	人口減少の伴い高齢者が多くなる一方で福祉業務が追いつかなくなると思います。 福祉業務も大切ですが、高齢者の自立する気持ちを養う事も大切だと思います。
6	人との関わり方、今の時代、自分さえよければよいという、その考え方をしなくてもよい生き方であればすべてよい方向に流れていくのではないのでしょうか。

【人材の育成・確保】

	回答内容
1	福祉に関する職員の増員、待遇を改善すべきだと思います。 現実的にボランティア活動に参加できる人はほんの一握りです。
2	町内会の話し合いや意見が気兼ねなく集える時間を作ってほしい。 隣近所のコミュニケーションが大切と考えます。 これからも地域住民とともに次代を担う子どもたちを育む地域となりたい。

【行政からの地域住民情報の提供】

	回答内容
1	匿名社会なので何をやるにしても難しく生きていくのが大変です。

【見守り体制の構築】

	回答内容
1	平日は仕事のため、地域の人と交流することは全くないです。 市内に両親が住んでいて毎週様子を見に行っていますが今後何か困ったときにどこに問い合わせようかという時はどうしたらいいかなどわからないことだらけで不安です。 自分の母親も不自由な生活をしているのですが、他にもたくさんそういった生活をしている方が多くいると思います。
2	地域の為に何かしたい気持ちはあっても、なかなか自分から行動をする事は結構難しいので、地域が積極的だったり「おせっかい」な人がいる事って意外と重要なと思う時がある。 うちの町会は1人暮らしのお年寄り同士声を掛け合ったり、新聞社の人が近所の方に新聞溜まっているからと心配し、見に行ってもらったりしているようで、できそうでできない事が多い中、自然とできることがすごい。 町会がない地域もあるそうですね。 隣に誰がいるのか、何人いるのか分からないという状態は本当に怖いと思います。 ただ地域の人子どもに「おかえり」と声をかけただけで不審者扱いされているのも事実なんですよね、悲しいです。

【除雪・屋根の雪下ろし】

	回答内容
1	車線の表示が消えているところが多く移住者は困る。 雪が多すぎて除雪が間に合っていないため費用をかけて雪対策をしてほしい。
2	冬期間の除雪充実。 特に主要道路は当然だが、バス路線の除排雪、新しく道路等整備も必要だが、場所によっては区画整理等考えてもいいのでは？と思っています。 車道のみならず、歩道整備、確保ができれば地域福祉だけでなく、住みやすく周囲からの補助などもしやすくなると思います。
3	週明けで除雪が入っていない通学路など、周りの人たちが少しずつでも気にかけて除雪ができれば安心して通わせられると思います。

【地域活動の情報提供】

	回答内容
1	地域住民はそれぞれの問題を抱えながらも最後の砦として行政機関を頼りに思っていてそれが一定の安心感につながっているものと思います。 町会等地域団体と市役所等行政の風通しの良い関係が地域問題の解決につながるものと期待しています。
2	広報で別冊の福祉サービスの流れや連絡先が載っているのがあったら便利だと思う。
3	第一にまずは情報を知らないと思けないので情報提供をしてほしいです。

【その他】

	回答内容
1	スーパー等への交通手段の確保があって安心した生活が送れる。
2	人間のみならず、動物、野良犬、猫達のTNR、虐待防止、保護等、協力し合って取り組めればと願います。 そこからさらに住民同士のつながりも生まれてくるのではないかと思います。
3	無駄な回覧板が多すぎると思います。